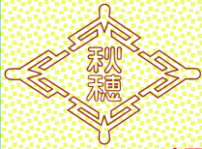


山口市立秋徳小学校 学校だより

「みんなが輝く 美しい学校」



あいお

2025.12.23 発行

山口市秋徳東 6771

TEL 083-984-2250

FAX 083-984-2264

令和7年度 第09号

チャレンジ目標「あいさつは自分から」「いじめは許さない」「おそうじはきちんと」

今年も大変お世話になりました

保護者会に際しましては、お忙しい中にもかかわらず御足労いただきまして誠にありがとうございました。また、本年も本校の教育活動に様々な形で御協力いただきまして感謝申し上げます。

さて、今年の一月の始業式にあたり子どもたちに以下のような話をしました。

「僕は、去年の一年間に練習を重ねて一輪車に乗れるようになりました。練習中は、何回も転倒して体のあちらこちらが傷だらけになり、ひどいときには一か月以上も激しい痛みで悩まされていた時期もありました。それでも、なぜ練習し続けたのだと思いますか。それは、何か新しいことに取り組むこと自体が何歳になっても楽しいからです。そして新しいことを身に付けたり学んだりすることは、それがどんなことであっても嬉しいからです。ぜひ、皆さんも今年的一年間で、一つでもよいので何か新しいことに挑戦してください。」

自分自身のことと言うと年齢を重ねるにつれて新しいことに挑戦する意欲が低下しているのを感じます。だから一輪車に取り組んだということではないのですが、ある程度乗れるようになったときには、それなりの達成感がありました。もちろん、一輪車に乗れるようになったからといって、だから何？と言われればそれまでです。誰かから褒めてもらったわけでもありませんし、何か見返りがあったわけでもありません。

今も昔も子どもたちはすぐに見返りを求めます。「～を頑張ったら、〇〇を買ってくれる？」とか「～をやったら〇〇してもいい？」など即物的です。そのため、頑張っていることの見返りが長期間にわたって得られない状態が続くと、モチベーションが低下しがちです。けれども本来は、何か新しいことに取り組んだり学んだりすることは、そのこと自体が楽しいことなのです。挑戦して失敗することもあるでしょう。頑張ってもうまくいかないこともあるでしょう。逆に、何かに挑戦して目標を達成したり夢の実現に一步近づいたりすることもあるでしょう。しかし、子どもたちには挑戦する気持ち自体を大切にしてほしいと思っています。

子どもたちは、時に様々な夢を語ってくれます。その夢は、目標を一つずつ達成していくことで実現に近づき、幸せな人生につながるかもしれません。けれども、幸せに至る道は決してひとつではありません。子どもたちが思い描いている夢が、たとえ実現できなくても、将来が閉ざされるわけではありません。「塞翁が馬」の例えにあるように我々のまわりで起こる全てのことは、視点や捉え方を変えるだけでどのようにでも変化しますし、そもそも目標の達成や夢の実現は、人生の最終到達点ではありません。

それぞれの子どもの人生の様々な岐路に立ち、悩みつつもそれぞれの進む道で一生懸命に、例えそれがどんな小さなことでも常に何か挑戦し続ける。そして、元気に明るく毎日を過ごしているならば、それが本当の幸せではないかと最近、ふと思います。なぜなら、本校の子どもたちが遊びに、勉強に頑張っている姿を見るのは、とても幸せな気持ちになるからです。

これから数日間、多くの日本人がクリスチャン風になったかと思った途端に仏教の儀式に移行し、そしてその儀式が終わった刹那、国民総出で厳かにあちらこちらの産土神(うぶすながみ)を祀りはじめます。節操のない姿と思う諸外国をよそ目に、そこには様々な幸せの形がみられます。私も含め目先のことにとらわれ、ついつい口を出してしまうとは思いますが、長い目で子どもたちの幸せを祈り、子どもたちが色々なことに挑戦し頑張れる環境を整えて見守ることも大人の務めだと思います。